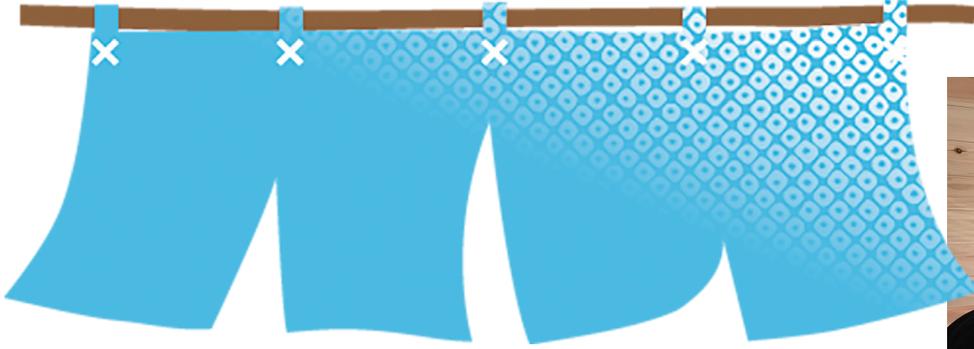


親子で

「そば打ち体験」を楽しもう!



チャレンジしてみよう、そば打ちのおもしろさ!!
縄文時代に大陸から日本に伝来したという「ソバ」。
江戸時代に定着した「そば」(そば切り)は、
すし、てんぷらと並ぶ日本の国民的な食文化といえます。
私たちの町でも、ひいおばあさんの頃まではどこの家にも
「そば打ち名人」と言われるおとうさんやお母さん、
お兄さんがいました。
大みそか(12月31日)に、えんぎをかついで食べる
「年越しそば(としこしそば)」、お祭りの時など、お客様や家族の
ごちそうとして、とびきり美味しいそばを打ちました。



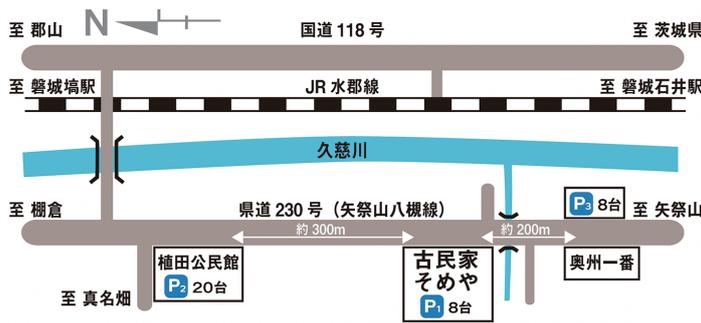
【講師】

関 大容 (せき・だいよう)

江戸期古民家「そめや」第6代当主 関 藤次右衛門の二刀流。定年後にそばを打ち始めて7年。全麵協三段。試行錯誤のそば道だが、そばをこよなく愛する6代目のもてなし術にそばが大いに貢献。

❖開催日時 9月10日(日) 午前9時~正午(終了予定)

❖場所 塙町「江戸期の古民家そめや」
<〒963-5343 福島県東白川郡塙町植田^{ゲチウチ}下地内1番地>



❖会費 1人500円(「二八そば」のお持ち帰り付き)

❖募集人数 親子組で8組(16名程度) *先着順で締め切り。
*そば打ち未経験の小・中学生8名+その父兄
*そば打ち1台につき、親子2組が1チームとなります。4台4チームで学びます。
*そば打ちに適した動きやすい服装。手ぶらでOKです。

【講師】 関 大容先生、佐藤孝男先生、古川智幸先生、山辺孝志先生、片野恵仁先生

【主催】 一般社団法人ニワトコ(水郡線沿線古民家群活性化委員会)



保護者の方たちへ

粉まみれになってもいい、 そば打ちから始まるワクワク「雑学冒険」!

たとえば、文豪・夏目漱石『吾輩は猫である』や、食通で知られる歴史作家・池波正太郎『蛇の目(鬼平犯科帳)』、料理・グルメ漫画「美味しんぼ」にも登場する蕎麦。「粹」なものというタグがつくほどですが、そもそも江戸時代中期に白米による江戸わずらい(脚気)が流行し出し、その頃から江戸で蕎麦がひんばんに食べられるようになったとか。蕎麦は、ビタミンB1を豊富に含み脚気などの予防や、ほかにもルチンの成分が高血圧や動脈硬化を抑える効果があるなど健康ブームの中で話題にされている食材です。

* お子様の蕎麦アレルギーについては、十分に確認をお願い致します。



【お申し込み方法】

メールまたは、Faxでお申し込みください。

一般社団法人ニワトコ

(福島県東白川郡棚倉町大字下山本字左近田2/近津小学校から徒歩2分)

Mail : niwa@niwatoco.jp Fax:0247-57-5911

【お問合せ】

Tel : 090-1421-8448 (ニワトコ事務局)

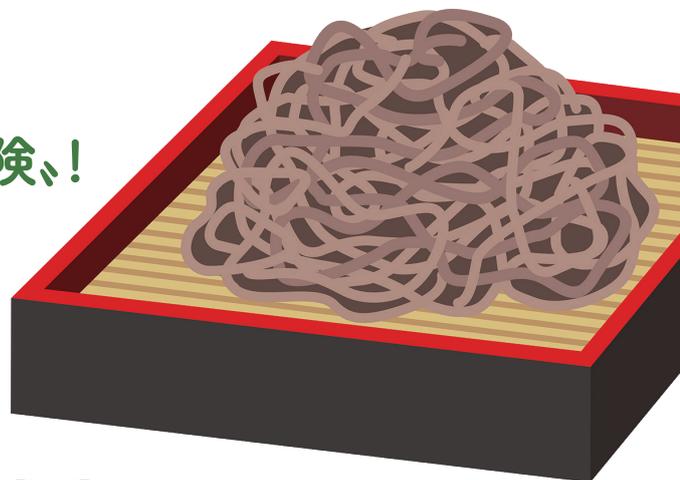
* 留守電の場合は、折り返しの電話とさせていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】本活動に関して参加の方々への連絡にのみ、使用します。

・添付の申し込み表に記載してお申し込みください。

小学生、お子様と同伴の保護者の方

参加者ご氏名	(ふりがな)	男・女	歳
学校名・学年	小・中・高 年	生年月日	年 月 日
保護者ご氏名	お子様と共に参加 参加者の方：生年月日	有 ・ 無 年 月 日	年 月 日
ご住所 電話番号	〒 -	緊急連絡先	- -



【講師】

佐藤孝男 (さとう・たかお)

そば道初段、柔道四段。奥様はそば道三段。あわせて八段。あふれるユーモアでそばを打つ。

古川智幸 (ふるかわ・ともゆき)

そば道初段。大型バイクの名ライダー。ハンドルを延し棒に持ち替えて目指すはそば打ち名人。

山辺孝志 (やまべ・たかし)

そば道初段、柔道四段。子供大好き、気は優しく力持ち。蕎麦道一直線。

片野恵仁 (かたの・けいじん)

矢祭町の里山「来る里の杜」を仲間たちと再生。日本百名山踏破達成。自然とふれ合いながら、上手いそばを打つと評判。

